

# ニュースレター

平成29年7月発行  
第26号

Newsletter



公益  
社団  
法人

広島県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

*Victim Assistance Center of Hiroshima*

**広島被害者支援センター**

〒730-0032 広島市中区立町1番24号有信ビル6F TEL082-245-6667 / FAX082-245-6668

URL : <http://www13.plala.or.jp/vach2-13/>



広島県環境県民局  
県民生活部長  
鳥越直樹

## ごあいさつ

広島被害者支援センター並びに会員及び支援活動員の皆様方におかれましては、犯罪被害者の方々に対する日常生活の細やかな支援をはじめ、県の被害者支援施策に御協力いただき、心から敬意と感謝の意を表します。

県内の刑法犯認知件数は10年前の約半数に減少している一方で、近年、子供や女性、高齢者など、弱い立場にある方が被害者となる様々な犯罪が後を絶たず、犯罪被害に関する相談・支援件数は増加しています。また、求められる支援が多様化する中、被害者に身近な支援団体として貴センターの果たす役割は益々高まってきております。

県といたしましても、より実効性のある相談窓口の充実や、幅広い層の理解促進のための広報・啓発、切れ目のない支援提供のための関係機関等との連携強化などに引き続き取り組んで参りますので、今後とも御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、広島被害者支援センターの益々の御発展と皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、ごあいさつといたします。



広島県警察本部  
警務部長  
高清水善弘

## ごあいさつ

今春の人事異動で着任いたしました「たかしみず」と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

広島被害者支援センター並びにその運営を支えておられる会員及び支援活動員の皆様におかれましては、平素から犯罪被害者等への支援活動に多大な御尽力をいただいております、心より感謝申し上げます。

広島被害者支援センターは、犯罪被害者等への支援に加え、社会全体の犯罪被害者等支援意識を高揚させるための広報啓発活動も行っており、今や県内の犯罪被害者支援活動において欠くことのできない存在となっております。

県警といたしましても、これまでも増して広島被害者支援センターをはじめとする関係機関・団体の皆様と連携を密にし、各種施策を鋭意推進して参りますことが大切であると考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

結びに、広島被害者支援センターの益々の御発展と会員及び関係者の皆様方の御健勝、御多幸を心から祈念申し上げます。



## 平成29年度総会の開催～28年度事業・決算報告



平成29年度総会を5月25日（木）午後5時から広島市中区の「ひろしま国際ホテル」で開催し、平成28年度事業報告及び収支決算について審議しました。いずれも原案通り承認されました。

### 平成28年度事業報告（概要）

平成28年度も公益社団法人・早期援助団体としての目的を達成するため様々な活動を積極的に推進してまいりました。

これまで週4日だった相談日を、月曜日～土曜日までの6日に増やし、10時～16時だった相談時間を9時～17時に延長しました。第1・第3日曜日の相談も継続しました。また、平成25年度に開設した東部地区相談室（福山市役所）に続いて、呉市に南部地区相談室（呉市役所）を新設し相談の場を広げました。結果、電話相談件数は27年度の334件に対し390件に増加しました。

また、長期にわたる裁判員裁判の付添や、代理傍聴・情報提供等の直接支援の依頼が増え、27年度477件に対し、28年度は574件に増加しました。裁判に於いて、被害者参加を選択する被害者・遺族は増えてきており、当センター支援事業の社会的要請は益々大きなものになりつつあります。

広報活動では、11月20日に呉市つばき会館に於いて、フォトジャーナリストの大藪順子氏を招き「立ち



上がる選択一性暴力被害者が生きやすい社会のために一」という演題で講演をして頂き、併せて大藪氏が撮影された写真の展示を行い、参加された方々に見て頂きました。

11月25日には被害者週間の活動の一環として、広島県被害者支援連絡協議会と共催し、修道高校野球部の生徒さんや安田女子大学の学生さんの協力参加を得て、広島駅南口広場で朝の通勤客を対象に、街頭キャンペーンを行いました。

また、交通事業者や関係機関のポスター掲示、マツダスタジアムでのオーロラビジョン放映、広島電鉄宮島線ラッピング電車の運行、RCCラジオでのCM放送など多くの方の協力を得て幅広い広報活動を行うことができました。

平成28年8月30日から平成29年3月31日まで、県の委託を受けて「性被害ワンストップセンターひろしま」を試行実施しました。その間、電話相談196件・面接相談16件・弁護士相談7件・臨床心理士相談6件を受理し対応しました。

### 平成28年度決算報告（概要）

平成28年度も公益法人会計基準に基づいて会計処理を行いました。会員様方からの会費に加え、民間企業や団体等からの多額の寄付、県の「業務委託費（ワンストップ業務を含む）」に加え、全市町（14市、3町、県町村会）の行政機関からの補助金・負担金の支援を頂きました。

さらに、預保納付金補助金や共同募金会と連携した社会課題解決プロジェクト募金と多くの支援を頂き、事業を拡大するとともに安定した活動ができるようになってまいりました。

平成28年度の収入は、会費収入・寄付金・業務委託費・預保納付金等総額43,706,868円で、支出は、事業費・管理費・積立金等総額43,706,868円となったことを報告し、承認を頂きました。



### 《28年度収支決算書(主要科目)》

□収入 (単位: 千円) □支出 (単位: 千円)

| 勘定科目                  | 決算額    | 勘定科目                                                                | 決算額    |
|-----------------------|--------|---------------------------------------------------------------------|--------|
| 会費収入<br>(個人・法人・団体)    | 8,788  | 事業費<br>(電話相談、面接、相談活動、<br>支援活動員養成、研修、広報、<br>啓発活動、事務局人件費等、<br>事務所賃料等) | 37,504 |
| 寄付金収入<br>(寄付金)        | 8,779  | 管理費                                                                 |        |
| 補助金等収入                | 1,784  | (電話相談、面接、相談活動、<br>支援活動員養成、研修、広報、<br>啓発活動、事務局人件費等、<br>事務所賃料等)        | 5,100  |
| 事業収入                  | 540    | 預り金                                                                 | 208    |
| 業務委託費<br>(ワンストップ業務含む) | 8,000  | 業務運営推進基金                                                            | 2,000  |
| 預保納付金                 | 9,900  | 次期繰越金                                                               | -1,106 |
| その他                   | 284    |                                                                     |        |
| 前期繰越金                 | 5,631  |                                                                     |        |
| 計                     | 43,706 | 計                                                                   | 43,706 |

### 補助金・負担金等支援行政機関

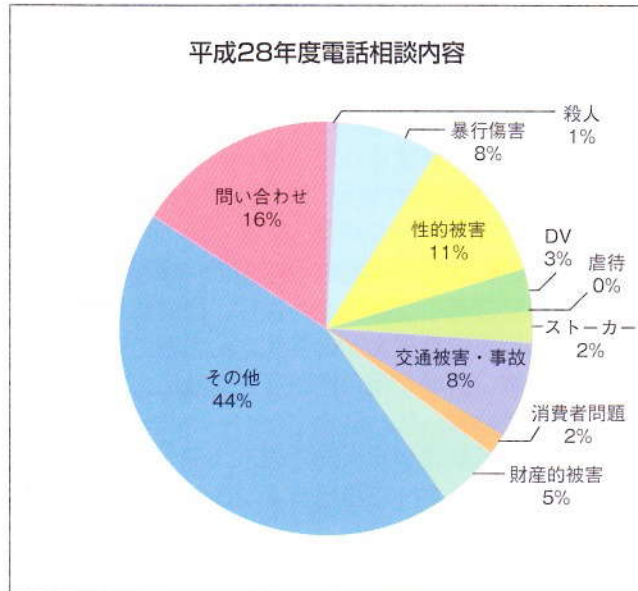
広島市、呉市、廿日市市、大竹市、東広島市、安芸高田市、江田島市、府中市、三原市、竹原市、三次市、福山市、庄原市、尾道市、府中町、海田町、熊野町、県町村会



## 平成28年度の相談件数

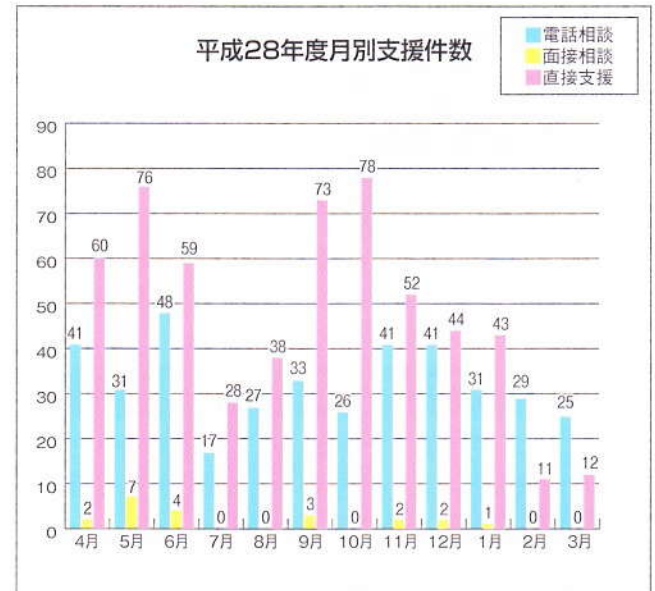
### ①平成28年度電話相談内容

昨年度より56件増の390件の電話相談がありました。  
多かった内容は、性的被害・暴行傷害・交通被害事故でした。



### ②平成28年度月別支援件数

4月～6月、9月～12月にかけて相談件数が多くありました。



### ③支援活動の推移

電話相談も年々増えてきていますが、裁判支援に関わる直接支援がかなり増加しています。



## 平成29年度 公益社団法人広島被害者支援センター役員名簿

|            |          |          |          |
|------------|----------|----------|----------|
| 理事長 山本 一隆  | 理事 新 恵里  | 理事 後藤 信行 | 理事 温泉川梅代 |
| 副理事長 兒玉 憲一 | 理事 上田みどり | 理事 田中 泉  | 理事 吉村 幸子 |
| 副理事長 長井 貴義 | 理事 内野 悌司 | 理事 戸田 慶吾 | 監事 河野 隆  |
| 専務理事 岡野 政義 | 理事 大久保隆志 | 理事 平 伸二  | 監事 河内 紀和 |

5月25日に開催された総会に於いて、今枝仁監事が辞任され、新たに河内紀和監事の任命が承認されました。



## 平成29年度委嘱状授与式が行われました

広島被害者支援センターにおいて相談電話や裁判付添等の直接支援に携わる支援活動員は、半年間にわたる養成講座を経て採用されます。また、採用後も、毎月の研修等に参加してもらい、1年ごとに意志確認をしながら活動の継続をお願いしています。

今年度は、3月24日、養成講座を修了し第10期生として採用された新規の活動員6名と継続の活動員43名、併せて49名に山本理事長より委嘱状が渡されました。

当日は、県警から警察安全相談課長兼被害者支援室長 宮本正之様他2名の来賓をお迎えしご挨拶頂きました。授与式終了後は、活動員・当センター理事とともに意見交換会を持ち、和やかに歓談しながら今後の活動に向けての決意を新たにしました。



## RCCラジオCM

RCCラジオの協力を得て、「イベント・キャンペーン告知企画」に参加し、カープの試合中継時に当センターのCMを流してもらいました。

当センターの存在を多くの方に知ってもらいたい、犯罪被害に遭って困っている方の耳に届きますようにと願って、20秒間のCMを数回流しました。

## 表彰状・感謝状の贈呈

平成29年5月25日に開催した平成29年度総会で、当センターの活動に理解を示され支援・協力をいただいた方や、永年の功労のあった方々へ、表彰状並びに感謝状を贈呈しました。



## 被害者遺族とカープ観戦!!

6月15日(木)被害者遺族をマツダスタジアムに招待し、当時支援に携わった支援活動員とともにカープ対バッファローズの交流試合を観戦しました。

球場は赤一色、熱い声援で大盛り上がりの球場、カープ優勢で試合は進み、結果7対2でカープの圧勝。大きな歓声に包まれました。

遺族の方達も、「お陰で家族と一緒に楽しい時間が過ごせました。いつまでも心にかけて頂きありがとうございました。」と、笑顔を見せて下さり、同行した活動員も、改めて支援の喜びを感じ、嬉しいひとときでした。

当日は放映がありませんでしたが、カープ球団のご厚意により、スコアボード横のオーロラビジョンに、風見しんご氏が登場する広島被害者支援センター広報CMを時々放映して頂いています。



広島県警察本部長・広島被害者支援センター理事長 連名表彰状

広島被害者支援センター犯罪被害相談員 廣田 陽子  
後藤建設株式会社社長 後藤 信行

広島県警察本部長・広島被害者支援センター理事長 連名感謝状

株式会社広島東洋カープ

理事長表彰状

広島被害者支援センター犯罪被害相談員 高橋 是幸

理事長感謝状

株式会社ブローバホールディングス

合同会社クロソイド

広島県ドッジボール協会

株式会社泉設計コンサルタント

公益社団法人広島県バス協会

株式会社広島銀行

中国電力株式会社

マツダ株式会社



## 理事の声

理事・広報委員長 田中 泉

2004年に広島被害者支援センターが設立されて以来ずっと理事を務め、採用研修委員会と広報委員会に所属しています。採用研修委員としては、これまで10期を数える支援員の養成講座での講師や、支援員候補や継続の面接を担当してきました。養成講座の入門編では「マイノリティの被害者」をテーマに、主に日本国内の在住外国人の状況と彼らからの相談を受ける際の注意点を講義しています。これは、今後ますます多文化共生化が進むと予想される社会において重要だと思っています。また、アドヴァンス編では「ボランティア

論」をテーマに講読ディスカッションを担当しています。

一方、広報委員会では、委員長として、このニューズレターの発行、講演会や街頭キャンペーンなどの広報活動の企画などを行ってきました。本センターの活動内容を県民の皆様幅広く知っていただくことは重要です。その意味でも、2011年にタレントで広島市出身の風見しんごさんを起用して、テレビ放送を通じて広報するためのCMを作成できたのは幸いでした。ご自分も交通事故でお嬢さんを亡くすという被害者であった風見さんは、撮影においても熱心に取り組んでいただきました。このCMは、テレビ放送が終了したのちも、広島東洋カープ球団のご厚意で、マツダスタジアムのオーロラビジョンでたびたび放映いただいています。今後も2つの委員会での活動に尽力したいと思っています。

## 「犯罪被害者支援自販機」の設置にご協力下さい。

現在県内の建設現場・事業所・企業等で、21台設置にご協力頂いています。

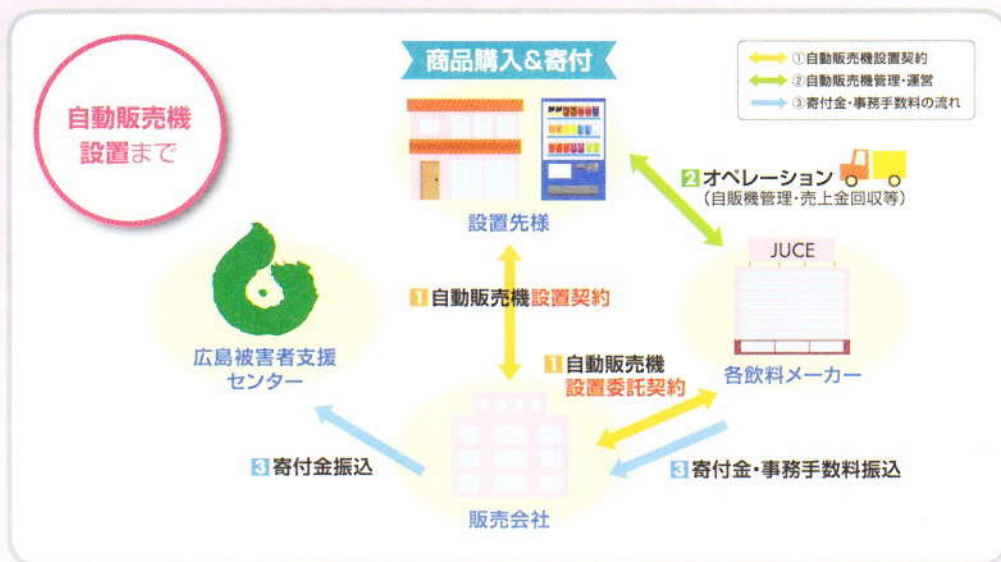
設置について詳しくは事務局（☎082-245-6667）へお問い合わせ下さい。



## 犯罪被害者支援 自動販売機設置のお願い

ひとり一人の思いやりで支えていきましょう。

犯罪被害支援自販機の売上金の一部を、広島被害者支援センターを通して県内の事件・事故の被害者支援に役立てています。





## 企業・団体の 支援活動

たくさんの企業・団体に  
応援して頂いています。  
ご協力ありがとうございます！



ラッピング電車



マツダスタジアムのオーロラビジョン



ポスター掲示等



タクシーに貼った啓発ステッカー



ドッジボール大会での募金



## 平成28年度社会課題解決プロジェクト募金活動に参加



平成29年1月から3月末まで行われた広島県共同募金会主催の、平成28年度社会課題解決プロジェクト共同募金活動に参加しました。

参加5回目の今回は、300万円の目標を設定して募金活動を実施しました。その結果3ヶ月の募集期間内に、県内各企業・団体・個人等304件、4,566,738円と目標を大きく上回るご支援をいただきました。

この募金活動は、寄せられた募金額に応じ、助成金がマッチングギフトとして加算される仕組みになっており、当センターは70万円が加算されました。

その交付式が、6月22日に広島県社会福祉会館でおこなわれ、広島県共同募金会 池谷公二郎会長からマッチングギフトを併せた5,266,738円が当センターに交付されました。

この寄付金は、犯罪の被害者・ご遺族の支援活動に大切に使用させていただきます。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

## 支援演奏会のお知らせ

### 「被害者支援チャリティー音楽祭」

期日 12月16日(土) 18:00~21:00

場所 アステールプラザ(広島市中区加古町)

プログラム ①修道高校スクールバンド部演奏

(予定) ②広島市消防音楽隊演奏

③広島東洋カープ選手によるトークショー

☆申し込み方法等詳しい内容は、後日ホームページやチラシでお知らせします。

## ホンデリング(本でご支援のお願い)

不要になった本が、犯罪被害に遭われた方々への支援活動に活用されます。

読み終わった不要な本、CD、DVDを「贈与承諾書」と共に梱包し、買い取り業者「株式会社バリューブックス」☎0268-75-9380にお電話をいただくと、指定する時間に宅配業者が引き取りにうかがいます。買い取り業者の査定金額が広島被害者支援センターに寄付されます。



## (編) 広島被害者支援センターをサポートくださる賛助会員・寄付を募集しています

広島被害者支援センターは、会員の皆様のご理解とご協力で支えられて運営している団体です。犯罪や交通事故などの被害にあわれた方や家族の方への支援活動を財政面からサポートして下さる会員を募集しています。

**1 賛助会員とは** センターが行う被害者支援活動の意義をご理解いただき、財政面での支援という形で事業に参加していただく会員をいいます。

**2 賛助会員の種類と会費** 賛助会員(年会費)は、  
個人会員 1口 2,000円  
法人・団体会員 1口 10,000円  
口数に制限はありません。  
その他、寄付も随時受け付けています。

**3 振込み先** 銀行をご利用の方  
広島銀行県庁支店 口座番号(普通)3007871  
加入者名 社団法人 広島被害者支援センター  
理事長 山本 一隆  
郵便局をご利用の方  
口座番号 01310-6-57119  
加入者名 社団法人 広島被害者支援センター

**4 入会していただく** 年2回発行予定の「ニュースレター」とシンポジウムや講演会の案内を送付します。



本誌は、共同募金会の助成を受けて発行しています。



昨年度制定された「第3次犯罪被害者等基本計画」で、犯罪被害に遭った被害者のきょうだいへの支援の必要性が明記されました。自分自身が被害に遭っていても、家族やきょうだいの事件に巻き込まれた子どもは心に大きなダメージを受けます。また親の悲しみや怒りを見ると、自分の痛みが伝えられず、しなくていい我慢をしてしまうこともあります。当センターでもそんな子どもたちがいることを忘れないように、声を聞き逃さないようにしていきたいと思っています。